あそびたいがぁ〜

vol.6
〜2012年5月号〜

特集「平成23年度 大田市公民館研究大会」

〜大田市 元気な子どもづくり事業〜

何をしているのでしょう？ （答えは５ページ!!）

「あそびたいがぁ〜」は「遊びたいよね」を意味する大田地方の方言です。大田市内の子どもたちが積極的に放課後や休日に地域での活動に参加し、地域の「ひと」「もの」「こと」に触れ、体験し、学ぶことで、心豊かでたくましい子どもに育ってほしいという願いが込められています。［大田市教育委員会委託事業］

特集

平成23年度

大田市公民館研究大会

平成24年3月11日、島根県立男女共同参画センター（あすてらす）において、第3回目の「大田市公民館研究大会」（主催：大田市公民館連絡協議会（市公連））が、市内外から約250名の方に参加していただき、開催されました。

今回は「“ひと”がつくる地域の未来『絆パワー再発見』〜人・地域のつながりを求めて〜」をテーマに、ブロックごとに行ってきた地域リーダーを中心とした実践活動の成果と課題を持ち寄り、講演やフォーラムを通して学びや交流を深め、公民館活動が今後より一層充実していくことを目的として行われました。

基調講演

岡山大学大学院
教育学研究科 准教授
熊 谷 慎之輔 氏

熊谷慎之輔氏（岡山大学大学院教育学研究科准教授）より、「絆をはぐくみ、子どもと大人がともに育つ地域をめざして」と題して、基調講演をしていただきました。その中で、

- 絆を育むためには学校・家庭・地域の連携が必要である。
- 子どもにとって、地域とのかかわりが豊富かどうかということは学力に大きな影響があり、また、そのことは保護者の地域とのかかわりも大きく影響している。
- 子どもの教育にかかわる取組を通して、大人も学び、成長していく。人生の中年期においては、学校支援ボランティアやPTA活動等を通して、自らも学び、成熟していく。学校・家庭・地域の連携は、子どものため、学校のためだけではなく、大人自身のためにも必要なことである。
- 大人と子どもの相互育ちが成立しにくい現在、学校・家庭・地域の連携・協働によって、大人と子どもがかかわり合い、育ち合うことが大切だが、そのためには大人が変わっていく必要がある。

という内容のお話があり、学校・家庭・地域の連携の大切さを再認識するとともに、大人の意識変容の重要性を強く感じました。

東部ブロック
藤井伸治さん

温泉津ブロック
宮原良平さん

三瓶ブロック
村田有郷さん

西部ブロック
藤原正明さん

高山ブロック
安原和歌子さん

“ひと”がつくる地域の未来

『絆パワー再発見』

～人・地域のつながりを求めて～

仁摩ブロック
檜垣康一さん

中央ブロック
本宮一慶さん

（上段・下段）各ブロック代表の地域リーダーのみなさん。ブロックごとの取組について、発表されました。

（下段左）中央ブロックの発表支援を行った、大田高校の布野日奈子さん。地域リーダーの一員として中央ブロックで活躍中です。

フォーラム

公民館を中心に各ブロックで行ってきた地域課題解決に向けた具体的な「絆づくり」の取組を、地域リーダーの代表の方々がプレゼンテーションソフトを活用しながら発表し、会場の参加者の皆さんと意見交換を行いました。

[東部ブロック]
　コミュニケーションを考える講座
[温泉津ブロック]
　郷土史活用プロジェクト
[三瓶ブロック]
　ふるさと三瓶再発見 お宝マップを作ろう!
[西部ブロック]
　安心・安全に暮らすまちをめざすには
[高山ブロック]
　高山家庭教育応援団
[中央ブロック]
　絆プログラム
[仁摩ブロック]
　仁摩小・中PTA合同研修会

ブロックごとの取組発表後、会場より5名の方からご意見をいただきました。「人とのかかわりの大切さを痛感した」「ブロック内の他町の方とのつながりが少しずつ深まった」「今後、中学生など様々な世代を自分のブロックでも巻き込んで取組を進めていきたい」など、今後の活動をより充実させていくための前向きなご意見をいただきました。

<会場のご意見>
中央ブロック
小谷真由美さん

今年度も絆づくりの取組を各ブロックで進めていきます。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

平成24年度　大田市立公民館スタッフ

公民館名	館 長	主 事	電話番号
中央公民館	岩根　了達	伊藤　裕子	82-6630
東部公民館	林　弘延	下垣　敦	82-5122
西部公民館	林　能伸	中田　博子	82-0221
三瓶公民館	藤井　好文	押越　幸子	83-2550
高山公民館	大畑　修一	流水真理子	89-0211
温泉津公民館	今田　善行	臼井　英恵	(0855)65-3696
仁摩公民館	泉　充規	本宮　一慶	88-3081

おおだのイベントレ

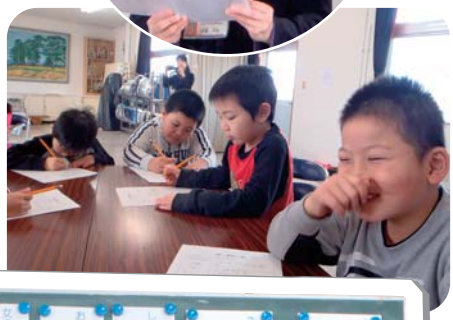
読み聞かせフォーラム
「いのちをいただく」

日時 3月27日(火) 10:00～11:30
場所 久手まちづくりセンター
主催 東部公民館
参加者 久手わくわく児童クラブの児童20人・おとな8人

読み聞かせフォーラム「いのちをいただく」が開催され、久手わくわく児童クラブ（小学1～3年生）の子どもたち20人が参加しました。

絵本「いのちをいただく」の読み聞かせを聞きます。読み手は社会教育指導員の幸増千世(こうますちよ)さん。牛の屠畜(とちく)が職業のお父さんとその息子、牛を売りにきたおじいさんとそのお孫さんのお話です。「感じたこと」と「わかったこと」「今後どうしていくか」を書いて、みんなで話し合いと発表をしました。

テーマは、「食べ物は全て生き物。つくった人に感謝(かんしゃ)を込めて『いただきます!』と言って食べましょう」というものでした。用紙を持って帰った子どもたちは、ご家族と何を話したのでしょう。



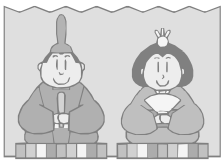
感じたこと・わかったこと
- 牛を殺す仕事をしているお父さんがかわいそう
- おじいさんは本当に悲しかったのでしょう
- いのちが大切ということがわかりました

最後の感想
- 感謝して食べようと思います
- みんないろんな意見を発表していたのでよかったです

主催者の公民館主事 下垣 敦(あつし)さん
- 参加者の子どもたちが中学生になったら、今度は伝える側になってくれるといいですね

レポート!!

お雛さまに囲まれて ひな祭り

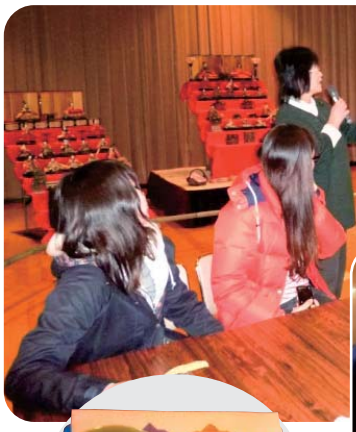


日時　3月4日(日) 13:30～14:30
場所　大森まちづくりセンター ホール
主催　大森まちづくりセンター
参加者　子ども20人・おとな25人

大森町の梅祭りで「お雛さまに囲まれてひな祭り」が開催されました。この日ホールには、町中から集められた古いひな壇やひな人形がたくさん飾られていました。

イベントはクイズからスタートです。「ひな祭りは別名何の節句?」（答えは「桃の節句」）や「三人官女の眉毛がないのはなぜ?」（答えは「結婚しているから」）といった、ひな祭りにちなんだ三択クイズ。そして、次に昔の遊びをやりました。お手玉とおはじきです。難しかったけれど、子どもも大人もチャレンジして楽しんでいました。老いも若きも外国人も集まって、にぎやかな桃の節句になりました。

クイズをしてくださったまちづくりセンターの鹿毛さん



おひなさまセット

おはじきってこうやるんだっけ?

日食メガネ工作

日時　5月13日(日) 13:00～14:00
場所　三瓶自然館サヒメル
主催　三瓶自然館サヒメル 天文事業室
参加者　子ども12人・おとな16人

日食ってなんだろう?職員の太田さん

5月21日も見えるといいなぁ

5月21日の日食を最大限楽しむための、日食教室と日食メガネ工作が開催されました。日食は年に1、2回ほど起こる現象ですが、日本や島根で見られるのはごく一部。サヒメルでは21日にも観察会が開催されます。

これで見えるのかな

たいがぁ〜の部屋

子育てサロン「なりすなっ子広場」

代表　田中鮎子（たなかあゆこ）さん（32歳）

参加者の吉田さんと田中さん（右）

たいがぁ〜（以下た）：ご出身はどちらなの？

田中さん（以下田）：三瓶町の多根です。今は仁摩町の天河内に住んでいます。

た：「なりすなっ子広場」ってなぁに？

田：週に1度、保育所に入る前の乳幼児を育てるママさんとお子さんが集まって、サロンをしています。室内で遊んだり、天気のいい日は外に散歩に出たり、月1でクッキングの日も設けています。多くて9、10組が参加してくださいます。私は、5才になる長男が生まれたときから参加していますよ。

た：サロンに参加する楽しみは？

田：子どもたちがおもちゃで遊んでいる間に、同じくらいの歳の子どもをもつママさんとおしゃべりしたりしていろいろ情報交換ができることです。子どもを通じてママ友もできました。

た：サロンをしていて工夫していることは？

田：月1のクッキングです。サロンのあと疲れてグズったり、なかなか帰ってからお昼を食べさせるのは大変なので、帰ってすぐお昼寝ができるようにクッキングをするようにしています。みんなで食べると食べられなかったものを食べてくれたりってこともあるんですよ♪

た：すごい！ママさんの知恵！今後はどんなことを計画中？

田：七夕やクリスマスなどなど、季節の行事を企画していきたいですね。夏はプールで水遊びを計画中です。

た：サロンに参加するお母さんとお子さんたちに一言！

田：子育て中のお母さん、ぜひ気楽にいらしてください。月齢（げつれい）が違う子のお母さんと話すと、子育ての参考になりますよ。

た：ありがとうございました！

クッキング教室のようす

なりすなっ子広場の日程とご連絡

○日時：毎週火曜日 10:00〜12:00　○集合場所：仁摩保健センター

ークッキングの日の託児ボランティア募集中!!ー

子どもが好きな方、0〜2才児の託児をしてくださる方を募集中です。
お問い合せは下記まで!

お問い合わせ　代表　田中鮎子　TEL：090-7593-7191

いきいき自然探検隊

主催　NPO法人しまね子どもセンター
共催　NPO法人おおだ子どもセンター
協力　島根森林管理署
後援　大田市教育委員会

三瓶山でいきいき自然探検隊が開催されました。午前中は森林管理署の方に教わりながらノコギリや剪定（せんてい）はさみを使って森のお仕事をしました。午後からは森の散策（さんさく）をして、たくさんの木々や生き物を観察しました。木のキーホルダーも作って、三瓶の新緑を満喫（まんきつ）できたもりだくさんな一日でした。

★ 大田市少年少女合唱団

■6月2・9・23・30日（土）10:00～11:30
■場所：大田市民センター
■問い合わせ：**中央公民館**　TEL：0854-82-6630

★ 子ども囲碁教室

■6月2・9・16日（土）10:00～11:30
■場所：大田市民センター
■問い合わせ：**大田まちづくりセンター**
TEL：0854-82-6240

★ 第27回 島根県学童通信陸上大会

■6月3日（日）
■場所：大田市第一中学校
■問い合わせ：**大田市陸上競技会**

★ 図書館

「おはなし会」
■6月9・23・日（土）14:00～
■場所：大田市中央図書館　おはなしのへや

「0～4才のおはなし会」
■6月21日（木）10:30～
■場所：大田市中央図書館　会議室

「ストーリーテリング」
■6月16日（土）14:00～
■場所：大田市中央図書館　おはなしのへや
■問い合わせ：**大田市中央図書館**
TEL：0854-84-9200

「おはなし会」
■6月16日（土）10:15～
■問い合わせ：**仁摩図書館**　TEL：0854-88-4646

「おはなし会」
■6月23日（土）10:15～
■問い合わせ：**温泉津図書館**
TEL：0855-65-2177

★ 自然たんけん隊（川たんけん）

■6月10日（日）9:00～12:00
■場所：三瓶山西の原・三瓶ふれあいの森
■問い合わせ：**中央公民館**　TEL：0854-82-6630

★ ひよこランド

■6月12日（火）10:00～11:30
■場所：中央公民館
■問い合わせ：**中央公民館**　TEL：0854-82-6630

★ 島根県立三瓶自然館サヒメル

「ダッチオーブン・キャンプセミナー」
■6月2日（土）13:30 ～3日（日）10:00
■場所：北の原キャンプ場
■参加費：1組2,000円、定員10組
■予約：1ヶ月前より受付

「カキツバタまつり」
■6月3日（日）10:00～15:00
■場所：三瓶自然館サヒメル

「金星太陽面通過観察会」
■6月6日（水）9:30～13:50
■場所：三瓶自然館サヒメル

「夏の企画展　宇宙旅行は夢じゃない」
■7月14日（土）～9月23日（日）
■場所：三瓶自然館サヒメル

「元宇宙飛行士・山崎直子さんと話そう!」
■7月14日（土）11:00～13:00
■場所：三瓶自然館サヒメル
■予約：1ヶ月前より受付
■定員：100名

「夏の夜の昆虫観察会」
■7月28日（土）19:00～21:00
■場所：三瓶自然館サヒメル
■参加費：100円
■予約：1ヶ月前より受付
■定員：40名

■問い合わせ：**島根県立三瓶自然館サヒメル**
TEL：0854-86-0500

《市民のみなさまからのイベント情報をお寄せください。今後編集部から取材に行かせていただくこともあります。》

JAPANのおおだにきています！

第1回

Rainbow Lee（レインボウ リー）さん（23）香港

ニックネーム	ボウ
おおだにいる期間	3月19日～6月6日（中長期ボランティアとして）
香港とは!?	中国の一都市です。けど、国旗のような旗（区旗）があります。というのも、「特別行政自治区（とくべつぎょうせいじちく）」（←調べてみよう!）だからです。オリンピックに出る選手は「中国代表」でなくて「香港代表」なんです。
おおだにきた理由	「名探偵コナン」の服部平次が好きで、西日本に興味があって、行ったことがないのが島根だったんです。
おおだの好きなところ	本が好きで、中央図書館やジャストが好きです。自然も好きで、三瓶川も好きです。
おおだにきて驚いたこと	コンビニにイスとテーブルがないことです。買ったものをすぐに食べられません!香港のコンビニには全部あります。あと、トイレ用のスリッパがあるのも驚きました。
おおだでやりたいこと	大田高校に行ってみたいです!これまで読んだマンガに出てくる「高校」を見てみたいんです。

※ボウさんは、6月6日までゆきみーるにいます。ぜひ会いにきてね。

竹の杖デザインコンテスト 募集中

inzan walking useum

石見銀山の「歩く観光」にふさわしい、竹の杖（つえ）のデザインを募集（ぼしゅう）します。身近に手に入る竹を使って自由な発想で。自分でつくった杖をNPO法人緑と水の連絡会議までご持参（じさん）ください。（小中学生も応募（おうぼ）できます）

詳しい応募条件は学校に掲示（けいじ）するポスター
または緑と水の連絡会議ホームページをごらんください。

●応募メ切：**平成24年9月20日（木）**
●応募作品展：**平成24年9月22・23日**
大田町 ゆきみーる
●表彰式：**平成24年10月9日（祝）**
大森町にて

※最優秀賞 1点 賞金20万円、優秀賞 2点 賞金5万円

そろそろ梅雨だがぁ。
なんで「梅雨（つゆ）」っていうんだろ??
1つの説は「梅の実が熟す季節だから」らしいぞっ！

【発行】 2012年5月 発行

NPO法人 緑と水の連絡会議

〒694-0064
島根県大田市大田町大田イ376-1
TEL：（0854）83-7373（ゆきみーる）
FAX：（0854）84-0262

ブログ毎日更新中!!